

令和 7 年度事業計画実施報告書

1. 園児数 定員 30 名

実績児童数 延べ人数 320 名

【内 訳】

0 歳児 20 名

1・2 歳児 120 名

3 歳児 36 名

4 歳児 36 名

5 歳児 108 名

合 計 320 名

月別委託児童数 別紙(1)(2)

2. 職員構成

園長 1 名

保育士 9 名

(うち準職員 2 名, 嘱託職員 1 名, 短時間職員 1 名 派遣職員 1 名)

栄養士 1 名, 調理員 2 名(短),

嘱託医 (内科 1 名・歯科 1 名)

3. 職務分担

園 長 園務全般, 事務会計, 渉外関係

主任保育士 園務補佐, 保育指導, 給食指導, 園内研修, 保護者会, 会計補佐

保 育 士 保育業務, 延長時の保育, 事務(諸帳簿記録)

教材購入管理, 共同遊具整理保存, 園庭の整備

保健衛生, 安全管理, 環境整備

栄 養 士 調理事務, 調理実務, 栄養指導, 食育指導

調 理 員 調理実務, 雑務

*詳しくは別紙(3)のとおり

4. 保育方針

保育については、キリストの精神に基づき、健全な心身の育成を図ることを目的とし、厚生労働省の定める「新保育指針」により、園独自の保育課程を作成してこれを実施する。

まず、全職員で温かい家庭的雰囲気を作り、その中に乳幼児を迎え入れて、養護と教育が一体となり人間性豊かな子どもに育成する。

5. 保育要領

(1) 保育目標

子どもが、現在を最もよく生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培うことが保育の目標である。

イ 心身共に健全な児童の育成

ロ 基本的生活習慣の確立

ハ 社会性を育てる

を掲げ、特に心の保育ではキリストの愛の精神を基に

○ 明るく素直で思いやりのある子

○ みんなと仲良く遊べる子

○ 心も体も元気でたくましい子 の育成に努力する。

(2) 保育時間

	7:00～8:00	8:00～16:00	16:00～18:00	18:00～18:30
保育標準時間	通常保育	通常保育	通常保育	延長保育
保 育 短 時 間	延長保育	通常保育	延長保育	延長保育

※延長保育料

	7:00～8:00	8:00～16:00	16:00～18:00	18:00～18:30
保育標準時間	保 育 料 月 額			2,000 円
保 育 短 時 間	0 円	保育料月額	1,000 円	2,000 円

6. 年間行事実施状況

自然豊かな当園の環境を生かし、四季折々の自然に触れたり、広い園庭で思い切り体を動かしたりすることを中心に据えながら保育を行った。

地域に開かれた保育園を目指し、「七夕まつり」へ地域の方や園児の祖父母を招待し、園児の発表やふれあい遊びなどを行った。祖父母の方々の参加が多く、世代間交流を十分に行うことができたが、今後地域の方の参加が増えるような工夫をしていく必要を感じた。

秋以降クマの目撃情報が相次ぎ、保育園のすぐそばに現れたこともあり、園外での活動を制限せざるを得ない状況になってしまった。

そのため、昨年度地域の方にも喜んでいただいた防火パレードは中止し、代わりに防火チラシを各戸へ配布という形とした。

猛暑やクマ出没など自分たちではどうしようもない厳しい状況下での保育の難しさを感じる一年だったが、子どもたち一人ひとりの成長につながるよう工夫しながら保育や行事を行った。

詳しくは別紙(4)のとおり

7. 給食実施状況

給食年間計画及び食事計画表に基づき、園児に安全で美味しい給食を提供できるよう、日々衛生面、栄養面に配慮しながら給食作りを行った。クッキングについては、感染症等を考慮した上で可能なクッキングを行った。

乳児においては、保護者や保育士と連絡を取りながら、個別の献立表を作成し、乳児の発達状況に合わせて進めた。

また、アレルギー児に関しては、医師の診断のもと、保護者、保育士と連絡を取りながら、除去食を実施した。

○給食延人数	別紙 (5)
○食事指導計画	別紙 (6)
○給食年間計画	別紙 (7)
○離乳食の進め方の目安表	別紙 (8)
○食事摂取基準の目標	別紙 (9)

8. 職員研修状況

各自の資質向上のために、以下の研修会に出席

宮城県保育協議会	5回 (10名)
大崎保育研究会	4回 (10名)
大崎市鳴子温泉地区こ・保・小中・公民館連絡会	3回 (3名)
キャリアアップ研修会	2回 (2名)
宮城県カトリック幼保連盟	1回 (2名)
カトリック児童福祉会法人職員会	1回 (2名)
こども家庭庁	1回 (1名)

＊園内研修

◎研修目標「子ども一人ひとりを大切にする保育を目指して」

月	研 修 内 容
4	事業計画・就業規則・職務分担・その他確認事項
5	救命救急講習会 園内研修の持ち方について
6	個別配慮を要する子・保護者支援について①
7	職場環境と働き方、時間の使い方について
8	前期自己評価
9	
10	保育カフェ ～足立先生との集い～
11	
12	個別配慮を要する子・保護者支援について②
1	全体の計画検討と次年度に向けて 各書類の検討
2	年間計画に基づく保育の反省と評価 園内研修の反省と次年度に向けての検討 職務分担の反省 後期自己評価
3	

9. 施設・設備等の整備状況

特に大きな工事や修繕が必要な個所はなかった。

日々、設備備品を大切に扱うことなどを職員全員で心がけると共に、その姿が園児の手本となることを意識していくようにした。